

支援プログラム

事業所名		多機能型支援事業所ウистерリア（放課後等デイサービス）			作成日	2026年4月1日
法人（事業所）理念		Wisteriaでは、一人ひとりの気持ちと選択を大切にし、安心して過ごせる居場所をつくります。遊びや人との関わりを通して「できた」「わかった」「またやりたい」を積み重ね、子どもたちが自信を持って日々の生活を送れるように支援します。				
支援方針		子どもの「好き」「やってみたい」を支援の出発点とし、無理強いをせず、一人ひとりのペースを尊重します。遊びを中心とした自然な関わりの中で、順番を待つ、ルールを理解する、気持ちを伝える、相手の気持ちに気づく、困った時に助けを求める、気持ちを切り替える等のソーシャルスキルを楽しく学べるよう支援します。成功だけを求めず、失敗や行き違いも職員と一緒に振り返り、次の行動につなげます。				
営業時間		平日 14時30分から17時30分まで 祝日・学校休業日 13時15分から17時00分まで	延長支援	あり	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	来所時の体調確認を行い、安心して過ごせる状態を整えます。生活リズム、身だしなみ、持ち物管理、時間を意識した行動など、学齢期に必要な生活スキルの自立を支援します。買い物体験や外出活動では、金銭の扱い、選択、計画、公共の場でのマナーを実践的に学びます。また、疲れや不安、気持ちの落ち込み等に気づき、自分なりの休み方や相談方法を身につけられるよう支援します。				
	運動・感覚	感覚の特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えます。ダンス、マット運動、トランポリン、ボール遊び等の粗大運動や、ブロック、工作、絵画、紐通し等の微細運動を遊びとして取り入れ、姿勢・身体の使い方・手先の操作性を育てます。苦手な刺激は無理に克服させるのではなく、本人が調整方法を知ることが大切にします。				
	認知・行動	ボードゲーム、カードゲーム、ブロック、ヴィジョントレーニング、制作活動等を通して、見る・聞く・考える・予測する・試す・修正する力を育てます。勝敗や思い通りにならない場面も学びの機会とし、職員と一緒に考えながら注意の切り替えや感情の調整、問題解決の方法を身につけていきます。				
	言語・コミュニケーション	日々の出来事や遊びについて職員や友達と話す中で、伝える、聞く、質問する、説明する力を育てます。言葉だけで伝えにくい場合は、視覚的な手がかりや選択肢を活用します。困った時に「手伝って」「少し待って」「嫌だった」等、自分の気持ちや希望を相手に伝えられるよう支援します。				
	人間関係・社会性	ボードゲーム、協力ゲーム、ごっこ遊び、共同制作、外出活動等を通して、順番、ルール、相談、役割分担、譲り合い、相手との距離感等を実際の関わりの中で学びます。トラブル時は一方的に正解を教えるのではなく、互いの気持ちを整理し「次はどうするか」を一緒に考えます。年齢や発達段階に応じて自己選択・自己決定を尊重し、地域や社会への参加につながる力を育てます。				
家族支援		定期的な面談や日々の連絡を通して、家庭での様子や保護者の困りごとを共有します。事業所での成功場面や有効だった関わり方を具体的に伝え、家庭で無理なく取り入れられる方法を一緒に考えます。保護者の不安や負担にも配慮し、必要に応じて相談援助を行います。		移行支援		学校・相談支援事業所等と必要な情報を共有し、進級・進学・卒業等の環境変化に合わせて支援方法を調整します。本人の強みや配慮事項、本人が自分でできること・助けを求める方法を整理し、次の生活の場へつなげます。
地域支援・地域連携		・学校、相談支援事業所、児童相談所、医療機関等との連携 ・地域イベントや公共施設を活用した体験活動 ・他の障害児通所支援事業所や地域の人との交流		職員の質の向上		・事業所内研修（月1回） ・外部研修・Web研修への参加 ・支援の振り返り・事例共有を通じた支援の統一
主な行事等		季節の行事、外出体験、公共施設見学、買い物体験、プール、ボードゲーム活動、親子参加イベント、保護者会、児童発達支援との合同活動、他事業所・地域との交流等。				